アクラス研修会（会員企画）のお知らせ（８月）

「実践を持ち寄って、評価について考えてみませんか
～プロフィシェンシー重視の教育現場では～」

◆日時：２０１３年８月２１日（水）１３：００～１６：００

◆コーディネーター：黒崎亜美（ラボ日本語教育研修所　講師）

今回は、初めてのアクラス会員企画の研修会です。コーディネーターの黒崎亜美さんがお仲間といっしょに作り上げた研修会です。さまざまな現場での実践を共有し、豊かな対話の時間を持ちたいと思います。また、研修後、継続的な「ミニ勉強会」を実施していく予定です。

＜コーディネーターからのメッセージ＞

ＣＤＳ（Can-do Statements）と言われて久しいですが、その後、実際に現場はどのように変わったのでしょうか？授業の形態はどのように変わったのか？私たち教師の授業内での役割は？学習者の能力は本当に伸びているのか？評価の方法は？…　おそらく多くの疑問や迷いがあるのではないでしょうか。そこで、様々な現場でのプロフィシェンシーを重視した実践を持ちよりその評価について考える、学習者の“熟達度”とその“評価”を考える会を実施したいと思います。できるだけ多くの現場の、多くの実践を持ちよっていただければうれしいです。成功の自慢話でも、失敗の反省話でもかまいません。気楽に話す中で明日の授業改善につながるヒントを見つけましょう。お気軽にご参加ください。

■場所：アクラス日本語教育研究所

（中野駅南口３分、詳しくはHPをご覧ください：http://www.acras.jp/）

■対象：現場を持っている方、またはかつて教えていた経験のある方

■定員：２０名（先着順とします）

会員でない方は、参加申し込みと同時に会員登録をお願いします。

会員登録　http://www.acras.jp/?page_id=878　→入会金・年会費無料

なお、会員登録後、研修会等の情報をＭＬにてお知らせ致します。

■受講料：無料（ただし、資料代および茶菓代として５００円いただきます）

■申し込み：　http://www.acras.jp/?page_id=897